

# 「まったくのホラ話でもない話2017」

マンガ学科 チョン・インキョン Chung In-kyung



作品を制作する際、最初に取り組むのは題材選びです。誰もが一度は耳にしている、今もっとも問題とされている事象を選ぶこともあれば、私が個人的に取り上げる必要があると思ったことを描く場合もあります。そのためにもニュースや新聞などは毎日チェックしています。同じニュースでも国によって記事の書き方が違う場合もありますし、日本の新聞は取り上げない世界のニュースが掲載される場合もあるので、韓国の新聞も欠かさず読んでいます。ネットを含め至る所に情報が溢れている昨今ですが、情報が多ければ良い、というものでもないと思います。今から80年前の1937年、パリのアトリエでラジオから流れる、ナチスによるスペインのバスク地方への空爆のニュースを聞いて、ピカソは「ゲルニカ」を制作しました。彼にそれ以上の情報は必要ではなかったのです。アーティストに必要なのは人より研ぎ澄まされた直感力、そして少しの勇気なのかもしれません。



韓国ソウル生まれ。1996年淑明女子大学史学科（韓国）卒業、来日。2006年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了（芸術博士）。第6回京都国際マンガ展グランプリ受賞（2004）/ 第35回日本漫画家協会賞特別賞受賞（2006）/ 第50回日本ジャーナリスト会議黒田清JCI新人賞受賞（2007）/ 平成19年度京都市芸術新人賞受賞（2008）など国内外で受賞多数。「放送レポート」誌に風刺マンガとエッセーを連載中。

